No.1962　　2025.2.16

市議会議員
森下さちこ

民主安城 日曜版
発行　日本共産党安城市委員会
（安城市池浦町丸田117　TEL/FAX：75-2903）
～日本共産党の活動を紹介します～
安城市議団Web

2025（令和７）年度 安城市当初予算案

予算総額は前年度比102億円の増

安城市は3月定例会で提案する2025（令和7）年度当初予算案の概要を、市議会各派に説明しました。物価、賃金が上昇し、人件費、扶助費が増加傾向であり、一般会計当初予算額は、過去最大となる833億6000万円（前年度比13.1％増）、特別会計、企業会計を含めると1256億5000万円（8.8％増）で、102億円の増加となりました。

市税収入は22億円の増

給与所得の増加と、令和6年度に実施された定額減税の影響がなくなる事により、個人市民税を144億円余（11億円増）、市内企業の業績が比較的順調で、法人市民税を31億円余（8億円増）見込んでいます。

固定資産税で196億円余を見込み、歳入（収入）の多くを占める市税全体では、前年度から22億円増の418億円余となりました。

2025年度 当初予算総括表（単位：千円）

区　分		2025年度	2024年度	増減額	増減率
一般会計		83,360,000	73,690,000	9,670,000	13.1
特別会計		30,572,000	30,653,000	△ 81,000	△ 0.3
	国民健康保険事業	15,003,000	14,575,000	428,000	2.9
	土地取得	1,000	1,000	0	0.0
	有料駐車場事業	238,000	294,000	△ 56,000	△ 19.0
	安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業	-	582,000	△ 582,000	△ 100.0
	介護保険事業	11,957,000	11,976,000	△ 19,000	△ 0.2
	後期高齢者医療	3,373,000	3,225,000	148,000	4.6
企業会計		11,715,000	11,099,000	616,000	5.6
	水道事業	4,921,000	4,785,000	136,000	2.8
	下水道事業	6,794,000	6,314,000	480,000	7.6
合　計		125,647,000	115,442,000	10,205,000	8.8

中学校体育館に空調設備、補聴器購入費助成など実現

歳出（支出）では民生費330億円余（39.7％）に次いで、教育費152億円余（18.3％）、土木費103億円余（12.4％）となりました。

日本共産党が市議会の中で求めてきた中学校の体育館への空調設備設置事業に13億円余が計上され、また、小中学校の児童生徒ひとり一台貸与するタブレット端末の更新に6億7000万円余が計上されています。教育費全体では40億円余の増加となりました。

土木費では、市道新明東栄線他主要道路の新設改良事業や、JR安城駅周辺の整備促進事業により8億円余の増加です。

また、2026年度アジア競技大会に向け、総合運動公園のソフトボール場等の改修に関する予算も計上されました。

新たに高齢者補聴器購入費助成に300万円が計上されたほか、安城こどもBOOSTERS関連では、小中学校の給食費無償化、第2子以降低年齢児保育無償化、高校生世代への医療費無償化の予算も計上されています。

市民の足確保のために最大限の努力

岡山県瀬戸内市の公共交通施策を視察

高齢化社会を迎えた日本で、移動の自由を保障するための交通施策は全ての自治体で課題となっています。森下さちこ議員は２月４日（火）、岡崎市、みよし市の日本共産党議員とともに岡山県瀬戸内市の市営バスをはじめとする公共交通施策について視察しました。

数年間交通施策途絶えていた

瀬戸内市は、2004年に邑久町、牛窓町、長船町の3町が合併して誕生しました。中央部は平野であり、JR沿線ではわずかに人口も増加しています。

2012年に、瀬戸内海に面している牛窓地域にオンデマンド型乗合バスの実証運行を開始しましたが、予約や乗継が不便であることから、利用者が伸びず、1年9カ月で終了となりました。その後しばらく交通施策は途切れましたが、2017年11月より公共交通不便地域の解消を目的に、３路線で市営バス（当初の運賃300円）の運行を開始しました。タクシー利用券（年間３万6000円）の配布も行い、2020年に市営バス３路線を追加しています。

民営バス２路線が撤退を決めた後、2022年から民営バスのサービス水準を引き継ぎつつ、市民の足の確保に努めています。

【瀬戸内市】	【安城市】
人口:3万6500人	人口:18万8800人
面積:125.46㎢	面積:86.05㎢
財政力指数:0.56	財政力指数:1.23
決算額:249億円	決算額:721億円
【市内公共交通】	【市内公共交通】
JR赤穂線	JR東海道本線(2駅)
(3駅 全て無人駅)	JR東海道新幹線(1駅)
市営バス(8路線)	名鉄本線、西尾線(7駅)
民営バス(3路線)	あんくるバス(11路線)
タクシー8社	あんくるタクシー
市営前島地域内交通	名鉄路線バス(2路線)
前島フェリー	タクシー4社

運賃引き下げで利用者４倍

現在、市営バスの運賃は１乗車100円（中学生以下無料）です。

元民営バス路線は、市営となり運賃が引き下げられたことで、利用者が４倍に増加したと説明がありました。その一方で、赤字の補填分の補助金約250万円であった年間の市負担は、８路線で１億円を超えています。

安城市では、あんくるバスと名鉄バスが走っています。あんくるバスは安価でありがたいが、本数が少なく目的地までの乗車時間が長いこと、名鉄バスは運賃が高いことで不満が出ています。それが市営と民営の違いではあるのかもしれませんが、市民の移動の自由を保障するために、名鉄バス利用者への運賃助成等で利用促進を呼びかけ、市の負担は最小限で、より利用しやすい公共交通とすることも可能ではないかと考えました。

お困りごとなど、お気軽にご相談ください。

弁護士による無料法律相談もあります。
法律相談には予約が必要です。
森下さちこ議員まで。090-1276-4120

Facebook　　X（旧Twitter）